

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年10月23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870300852		
法人名	池田観光開発 株式会社		
事業所名	グループホーム 鶴沼の里	ユニット名	A棟
所在地	〒300-0012 茨城県土浦市神立東2-21-22		
自己評価作成日	平成25年5月5日	評価結果 市町村受理日	平成25年10月10日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0870300852-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年8月19日	評価確定日	平成25年10月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

①近くに鶴沼があり、遊歩道を散歩でき、自然と触れ合うことができる。②自立支援と明るく家庭的な介護。③無農薬の吟味された食材。④自宅の延長のようなゆったりとした当り前の生活。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は幹線道路から脇に入った交通量の多い道路に面しているため、これまでは利用者の安全を第一に考えてやむを得ず玄関を施錠していたが、解錠に向けて運営推進会議で話し合った結果、オートロックを導入するとともに、職員の見守りを強化したり、さりげなく同行したりして、利用者がいつでも自由に外に出られるよう改善するなど、サービスの質の向上に努めている。

居間や廊下に飾られている、利用者と職員が季節の花をテーマに時間をかけて制作した折紙の作品は、花が咲いている様子が細かく丁寧に立体的に表現されており、見た人々に感動を与えている。

管理者や職員は、利用者が他の利用者の分まで一度に下膳するなど、失敗する恐れがある行動をした場合でも手を出さずに見守り、利用者自身の自発的な行動を大切にしながら、行動制限を行わない支援に努めている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホール内、玄関に貼り紙をしてあるので、理念を共有している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、職員の出勤時に確認ができるよう玄関や居間、事務室に掲示するとともに、トイレの中にも掲示し、常時意識付けをして実践につなげている。 管理者と職員は月1回の全体会議時に理念を確認しながら共有し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校の運動会や納涼祭等参加したり、ボランティアさんに参加して頂いている。	利用者は職員と一緒に近隣にある小学校の運動会や市民運動会に参加し、それぞれの運動会で「玉手箱競技」に出場するなど、地域の一員として交流している。 フォークダンスのボランティアや大学生の職場体験を受け入れ、利用者が地域とつながりながら暮らせるよう支援している。 中学校の授業の一環で、中学生からの「介護事業所の仕事内容に関する調査」に応えるなど、事業所として地域での役割を担っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生の職場体験等などに利用している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催し、意見交換し、活かしています。話し合ったことはサービスに反映している。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、市職員、区長、民生委員、介護相談員、代表者、管理者、職員で2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の生活の様子や運営状況の報告を行うとともに、課題などを話し合い、委員から出た意見や助言をサービスの向上に活かしている。 事業所でやむを得ず行っていた玄関の施錠について運営推進会議で話し合い、オートロックを導入して改善につなげている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	月1回介護相談が来所し、入居者様の要望を聞いて下さり、質の高いサービス工場に努めている。	管理者は毎月要介護更新認定の手続きなどで市を訪問した際に、市担当者へ運営状況や空き情報を報告し、協力関係を築くように取り組んでいる。 生活保護受給の手続き方法について市担当者へ相談して助言を得るなど、日頃から協力が得られる体制となっている。 毎月介護相談員を受け入れ、利用者が要望や苦情などを言い易いよう支援している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	やむを得ない入居者様に関しては、家族の同意書を頂いて拘束することもあります。身体拘束の経過を記入しています。	身体拘束や行動制限を行わないことを契約書に明記するとともに、全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解し、月1回の全体会議時に身体拘束の状態になっていないか確認しながら身体拘束をしないケアに努めている。 現在、医師の診断のもとやむを得ず身体拘束をしている事例はあるが、身体拘束を行う場合は書面で家族等の同意を得るとともに、理由や身体拘束の内容、経過を記録に残し、身体拘束の解除に向けて定期的に話し合って記録を作成している。 事業所前の交通量が多いことや、一人で外出してしまう利用者がいたため、安全に考慮して玄関を施錠していたが、利用者がいつでも自由に外に出られるようオートロックを導入するとともに、職員の見守りを強化したり、利用者が外出する時にはさりげなく同行したりして、施錠をしないで暮らせるよう取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作り、話し合いをしながら、虐待のない様に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学んで、活用できるよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書は本社にて十分説明し、理解して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置する他家族が来所時には意見等を聞いて反映させるよう努めている。	管理者や職員は利用者との日々の会話の中から意見や要望を聴いているほか、家族等からは面会時に話を聴いたり、事業所の納涼祭やクリスマス会の時に意見を聴く機会を設けたりしている。 家族等から「利用者が支払いの心配から面会時に毎回お金を要求するので、支払い方法を詳しく説明して安心させて欲しい」との要望があったため、支払いの不安を抱えてる利用者には職員が説明するなど、出た意見等を反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の主任者会議、全体会議において意見の交換をしている。	管理者はユニット会議で職員の意見や提案を聞くとともに、日頃から職員とコミュニケーションを図り、意見等を出し易い関係づくりに努めている。 職員の要望や提案が通り易くなるよう、毎月代表者を交えて話し合う全体会議を行っている。 介護福祉士の資格習得のため、また、移動や移乗の際の利用者ならびに職員の負担軽減を目的として「スーパートランス技術」の実技研修を実施して欲しいとの提案を受け、全職員で受講するなど、管理者は職員の意見や提案を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社にて対応してくれている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は自分の休みを利用して受けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	土浦市地域密着型サービス連絡会に参加しており、良い方法を検討している。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話しを出来るだけ聞いて、不安等にならないようにする為、日々努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に困っていること、不安なことを聞き、要望なども耳を傾け、不安を取り除き、安心して生活できるよう対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族と共に納得のいくサービスをスタッフと共に考え、対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族の一員と考え、共に学び共に成長して行ける様に対応している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様が来所された時等、日々の生活等話す様にし、和やかに過ごして頂くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の友人や知人が面会に訪れた時は、温かく迎え、利用者様と楽しい時間を過ごして頂いている。	職員は利用者の馴染みの店での買い物や墓参りに一緒に出かけたり、家族等の協力を得て旅行や外食、墓参り、親戚の集まりなどに行けるよう支援している。 職員は利用者の馴染みの人への手紙の投函や電話の取り次ぎ、来客時のお茶出しなどを支援し、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	理解が出来ない同志が多い為、親しい関わり合いまでは、無理の職員が間に入って分かり合える様支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してからも、相談などに応じたり、立ち寄って下さる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	「その人にとっての安心」を大切に利用者の希望や思いの把握に努めている。	管理者や職員は入居時のアセスメントから利用者の生活歴を把握しているほか、日々の係わりの中で会話や行動を観察しながら利用者の思いや意向の把握に努めている。 意思疎通が困難な利用者の場合は表情やしぐさから判断したり、家族等から情報を得ているほか、職員で話し合って利用者の思いなどを汲み取るよう努めている。 把握した内容は、個人ファイルと申し送りノートに記載し、全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントや家族に聞き把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人に合った対応に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は心身の状態に変化が生じた時は、見直した介護計画を作成する。	介護計画は月 1 回カンファレンスを実施し、利用者や家族等の意見や要望、医師や職員の意見などを取り入れて作成するとともに、2 ヶ月に 1 回モニタリングを実施して見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子などで特に気付いた時等は、申し送り、又、日々変わる利用者様に於いては、細かく記録し、情報を共有しながら、実践に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	誕生会やお花見など外食したり、ドライブに出掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事などでボランティアさんに踊り、歌など協力して頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望するかかりつけ医への受診を支援している。月1回の往診と週1回の看護師の来訪がある。	契約時に利用者や家族等の意向を確認し、希望するかかりつけ医への受診を支援するとともに、協力医療機関への受診も支援している。 かかりつけ医への受診は家族の付添いを基本とし、受診の時には職員が利用者の体調などを書いたメモを家族等から医師に渡してもらっている。 家族等が付き添えない場合は職員が受診支援するとともに、利用者の状態によっては利用者や家族等と一緒に職員も同行し、詳しい状態を医師に説明している。 月1回協力医療機関の医師による訪問診療を支援し、結果を家族等に電話や面会時に報告するとともに、個人ファイルや申し送りノートに記録して全職員で共有している。 週1回協力医療機関の看護師による健康管理を実施している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の来訪時に相談している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	行なっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族様の意向を確認し、行なっている。全体会議の後に、話し合っている。	契約時に利用者や家族等に重度化や終末期に向けた事業所の対応指針を説明して同意を得るとともに、延命治療や胃ろう造設の意向を確認している。 事業所では看取り介護の経験はないが、重度化や終末期に向けたマニュアルを作成し、定期的に研修を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命訓練は消防署より受講しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行なっている。	消防署立ち会いのもと、夜間想定を含む火災訓練や避難訓練を年2回実施し、その時の状況や反省点、今後の課題を話し合って記録に残しているが、訓練に地域住民の参加を得るまでには至っていない。 災害時に備えて水や米、缶詰、乾麺、チョコレート、あめ、ビスケット、防寒着を備蓄している。	運営推進会議の委員や事業所の行事の参加者に協力を呼びかけ、地域住民の参加を得た火災訓練や避難訓練の実施を期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人権を尊重した対応をしている。	管理者や職員は利用者の呼び方や言葉遣いなどに気を配り、利用者が言われたくないことを言わないよう意識するなど、利用者一人ひとりの尊厳を大切に考え支援している。 職員はトイレ誘導時には利用者に小声で声をかけ、トイレのドアは必ず閉めるなど、プライバシーに配慮した対応に努めている。 車いすを使用している利用者の場合は、トイレに車いすが楽に入れるようドアは使用せず、代わりにカーテンで目隠しするなどの工夫をしながら、誇りやプライバシーを損ねない対応に努めている。 契約時に利用者や家族等に個人情報の利用目的を説明するとともに、書面で同意を得ている。 個人のファイルは事務所にある鍵のかかるロッカーに保管し、情報漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にするよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	誕生会やイベントの時など、化粧やマニキュアを付けています。1ヶ月半に1回のカットを近所の床屋さんに来てもらっておこなっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と準備・片付け等は無理の為、出来ること（もやしのヒゲ取り、まめの筋取り）等をして頂いている。	献立は職員が作成し、毎月保健所の栄養士に栄養バランスなどを確認してもらい、職員が調理している。 利用者はできる範囲で下ごしらえやテーブル拭き、後片付けを行っている。 職員は利用者と同じテーブルを囲み、会話をしながら楽しく食事ができるよう支援している。 利用者の嫌いな献立には食材の切り方や味付けを工夫するとともに、常時代替品を用意して美味しく食べられるよう支援している。 誕生日会にはケーキを用意し、出前をとって利用者と職員で祝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	飲み込む能力のない人には、ペーストにするなど個々の力に応じて対応し、片寄りが無い様心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを必ず行い清潔にしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員は一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間を決めての介助に努めている。	職員は排泄チェック表から利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、タイミングを見計らってトイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるよう支援している。 失敗した場合はさりげなくトイレや風呂場に誘導するなど、利用者の自尊心を傷つけないよう配慮した対応に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	その方にあった便秘予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の体調に配慮しながら、楽しく入浴できるように支援している。	2日に1回の入浴を基本としているが、風呂は毎日沸かしているため、利用者の状態や希望にそって入浴日を変えたり、シャワー浴や足浴など、個々に応じた支援をしている。 入浴を拒む利用者には無理強いせず、職員を替えて声かけをしたり、入浴の時間帯を変えるほか、歌を歌いながらさりげなく風呂場まで誘導するなど、工夫をしながら入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	職員は一人ひとりに合った居心地の良い生活習慣に心掛け支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	支援し、確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	年齢が高くなるに従い、お手伝いも無理な人が多く、でも出来る方にはモップ掃除などやって頂いてます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来るだけ多くの利用者が外出するように心掛けている。御家族様とも墓参り、旅行に出掛ける方もいる。ご家族に協力して頂きながら、本人の望む様支援している。	気候の良い時期には日常的に散歩を支援しているが、今年は猛暑で熱中症につながる恐れがあるため、熱い時期の散歩は控えている。 職員は利用者の希望を聴きながら外出の年間計画を立て、近隣の小学校にある桜の花見や市主催のマラソン大会の応援、代表者宅でのバーベキューなどを計画し、季節を肌で感じながら外出ができるよう支援をしている。 遠出を希望する利用者には、家族等の協力を得ながら出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望に沿って、職員が買い物をする事もある。外出した時に本人が買い物ができる事がある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの希望に沿って、電話をかけてあげたり、電話がかかってきたら取り次いでいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れ、暖かい雰囲気の中で、居心地の良い空間を築いている。	居間の大きな窓から自然光や外気を取り入れたり、換気や温度調節をしたりして、快適に過ごせるよう配慮しているほか、居心地よく過ごせるよう窓の脇にソファとテレビを配置している。 居間や廊下の壁には利用者と職員と一緒に折り紙で作った季節の花の作品が飾られているほか、職員が撮った行事の写真が掲示されており、利用者が楽しんでいる様子を窺い知ることができる。 天気の良い日は幅の広い廊下で歩行訓練を行い、利用者の体力維持につなげている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様がゆったりと過ごして頂ける様ホール中央にソファを置き、談話しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりが居心地の良い居室で好きな写真、誕生日など目に止まる位置に貼って楽しく暮らせる様配慮している。本人がなんでもわかっている為、枕側に色々物があっても、それが居心地が良いと思っている為、難しい時もある。	居室にはエアコンやベッド、整理箆笥、クローゼット、カーテンが備え付けられている。 居室に天窓が設置されているため、明るく暖かい環境となっている。 利用者は家族等と相談しながら使い慣れた整理箱や化粧品、テレビ、ラジオなど思い思いの物品や仏壇など大切な物品を持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	レクリエーション時には、皆が楽しめるボール投げ、歌など楽しめるよう工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	☐ 1, ほぼ全ての利用者の ☐ 2, 利用者の2/3くらいの ☐ 3, 利用者の1/3くらいの ☐ 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	☐ 1, 毎日ある ☐ 2, 数日に1回程度ある ☐ 3, たまにある ☐ 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	☐ 1, ほぼ全ての家族と ☐ 2, 家族の2/3くらいと ☐ 3, 家族の1/3くらいと ☐ 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	☐ 1, ほぼ毎日のように ☐ 2, 数日に1回程度ある ☐ 3, たまに ☐ 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	☐ 1, 大いに増えている ☐ 2, 少しずつ増えている ☐ 3, あまり増えていない ☐ 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	☐ 1, ほぼ全ての職員が ☐ 2, 職員の2/3くらいが ☐ 3, 職員の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	☐ 1, ほぼ全ての家族等が ☐ 2, 家族等の2/3くらいが ☐ 3, 家族等の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム鶴沼の里

作成日 平成25年10月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	火災避難訓練や避難訓練時、運営推進会議の委員や地域住民の参加がなされていない。	運営推進会議の委員や地域住民の参加による避難訓練の実施をする。	・運営推進会議の委員の方々や地域住民の方に避難訓練時事前等に声をかけて徐々になじみ関係を築いていく。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。